

差額ドックの検査内容の説明

健診項目		内容	
身体計測		肥満度	標準体重に対し現在の体重がどの程度離れているかを％で示します
眼科		眼圧測定	目の角膜に空気を当てて眼球内の圧力を調べます 緑内障などの病気がわかります
		眼底検査（両眼）	眼球の奥にある血管や網膜、視神経を撮影します 動脈硬化の程度や緑内障、黄斑変性症など眼の病気がわかります
尿		ウロビリノーゲン	肝臓の病気で陽性になることがあります
		pH	正常な尿は弱酸性で、体の状態や食事で変化します
		比重	腎疾患、脱水などがあれば尿の比重が変化します
		沈渣	尿の沈殿成分を顕微鏡で調べます 尿路の腫瘍や感染症、腎疾患の診断に役立ちます
血液	血球・貧血	血小板数	血小板は出血を止める働きがあり、少なくなると出血したり、血が止まりにくくなります
		MCV・MCH・MCHC	赤血球恒数といい、貧血のタイプを分類するのに役立ちます
		フェリチン	鉄欠乏性貧血の診断に役立ちます
		血液像	白血球を分類しその割合等で血液疾患診断の手がかりになります
	血液型	血液型（初回のみ）	血液型（ABO型・Rh型）を調べます
	糖代謝	ヘモグロビンA1c	過去1-2ヶ月の平均的な血糖（ブドウ糖）の状態を表します
	肝機能	LD（LDH）	肝臓や心臓、骨格筋の細胞が壊れると上がります
		コリンエステラーゼ	腎疾患や肥満、脂肪肝などで上がり、肝障害や低栄養で下がります
		総ビリルビン	赤血球のヘモグロビンが壊れて変化したものです 肝機能が低下すると代謝されず血液中に残り、黄疸になります
		総蛋白	栄養状態や肝臓、腎臓の働きなどがわかります
		アルブミン	
		A/G比	血清蛋白のアルブミンとグロブリンの比です 肝臓・腎障害で下がります
	膵臓	血清アミラーゼ	膵炎などで上がることがあります
	腎機能	尿素窒素（BUN）	クレアチニンやeGFRと合わせて腎機能の評価に役立ちます
	血清電解質	ナトリウム	電解質は体の水分や神経・筋肉の働きなどを調整します 腎疾患や脱水などで異常値を示します
		カリウム	
		クロール	
		カルシウム	
	免疫・炎症	CRP	炎症や感染症、がんなどで上がることがあります
	肝炎ウイルス	HBs抗原	B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの感染を調べます
		HCV抗体	
	腫瘍マーカー	CEA	大腸がん、胃がん、肺がんなどで高くなります
		AFP	肝細胞がんなどで高くなります
		CA19-9	膵臓がん、胆道系のがんなどで高くなります
呼吸器検査		肺機能検査	慢性閉塞性肺疾患（COPD）や間質性肺炎、肺線維症などの診断に役立ちます
腹部超音波			超音波を利用して肝臓・腎臓・膵臓・胆のう・脾臓・腹部大動脈の状態を調べます